



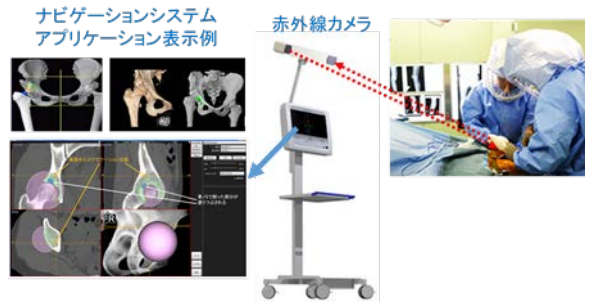
平成30年度横浜市リーディング事業助成金(プロジェクト助成)の 交付対象事業(2事業)が決定しました！

横浜市では、国の助成制度等の活用を目指す健康・医療分野の革新的なプロジェクトに対し、研究開発費を助成する、横浜市リーディング事業助成金(プロジェクト助成)を設けています。

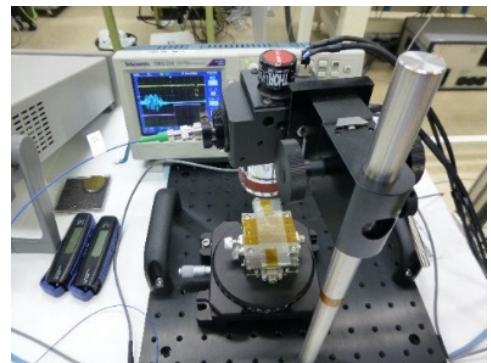
この度、平成30年度の交付対象事業として、次の2事業(交付予定額約17,798千円)を決定しました。

【交付対象事業】

事業名	股関節骨切り術・人工股関節置換術のためのHigh Performanceナビゲーションシステムの開発		
事業内容	<p>歩行時に痛みなどを伴う股関節疾患の治療には正確に骨を削ることが求められる「股関節骨切り術」や患者に最適なサイズの人工関節を最適な位置に設置するための「人工股関節置換術」といった難易度の高い手術が行われます。このような高度な手術を、術者が安全かつ正確に行うためには、コンピュータを用いたナビゲーションシステムの活用が有効です。</p> <p>本事業ではSoulImpact株式会社のソフトウェアによる画像表示技術と、横浜市立大学整形外科の臨床医による評価と、株式会社スリーディーの医療機器開発技術を融合させ、切除領域を可視化表示する手術用ナビゲーションシステムの開発を目指します。これにより詳細な術前計画と精密で正確な手術が可能となり、患者の術後のQOL向上への貢献が期待されます。</p>		
参画団体	SoulImpact株式会社(申請企業)、横浜市立大学(附属病院整形外科)、株式会社スリーディー		
交付予定額	7,798千円	対象事業期間	平成30年9月1日～平成31年2月28日
事業名	変形性膝関節症の検査用低侵襲型超高速OCT(光干渉断層計)の開発		
事業内容	<p>膝関節の軟骨がすり減り、関節炎や痛みなどが生じる変形性膝関節症において、起立障害等の重症化に至る前段階に多く発症する、膝関節内の硝子軟骨下部の骨欠損(離断性骨軟骨炎)の正確な診断・評価技術の開発が急務となっています。</p> <p>本事業では、検査が困難である軟骨下部の欠損状態をより正確に計測するため、低侵襲の「超高速OCT装置(光干渉断層計)」を開発します。これにより人体への影響が少なく、計測時間の短縮が可能で、かつ欠損部分の判断が容易となる検査方法を確立し、変形性膝関節症治療への貢献を目指します。</p>		
参画団体	シンクランド株式会社(申請企業)、大阪大学(大学院医学系研究科医用光学研究室)		
交付予定額	10,000千円	対象事業期間	平成30年9月1日～平成31年2月28日



ナビゲーションシステムのイメージ



開発機外観イメージ

用語の解説

股関節骨切り術・人工股関節置換術のための High Performance ナビゲーションシステムの開発

※股関節骨切り術

股関節に対する人工関節以外の手術方法。関節近くの骨を切り、関節の向きを矯正、および残っている関節軟骨が荷重部にくるように修正する手術。

※人工股関節置換術

傷ついた股関節を取り除いて、人工関節(インプラント)に置き換える手術。

変形性膝関節症の検査用低侵襲型 超高速 OCT(光干渉断層計)の開発

※(OCT)光干渉断層計 (optical coherence tomography)

対象物に人間の目では見えないかつ安全な光を照射し、その戻り光同士で生じる干渉効果を観測することで、非接触・非侵襲で、物体表面の微細な凹凸や内部の断層構造を撮像することが出来る装置。装置仕様としては測定分解能が10 μ 以下と極めて高精度な測定が可能で、特に人体内部(例えば網膜)の組織構造を撮像する目的で広く活用されている。

申請企業について

SoulImpact 株式会社

住所: 横浜市港北区新横浜三丁目7番地18第2上野ビル724号

代表者: 山本 昇治

事業内容: ソフトウェアの開発、システム技術者の派遣、コンピュータシステムのコンサルタント

シンクランド株式会社

住所: 横浜市鶴見区小野町75-1 リーディングベンチャープラザ1号館502号室

代表者: 宮地 邦男

事業内容: 光学・電気技術を用いた医療機器および検査測定機器等の製造および販売

横浜ライフイノベーションプラットフォーム(LIP:横浜)とは

横浜から、健康・医療分野(※)のイノベーションを持続的に創出していくことを目的とし、産学官金が連携して取り組むためのプラットフォームです。

このプラットフォームでは、企業・大学・研究機関ネットワークから革新的なプロジェクトを生み出すとともに、中小・ベンチャー企業等に対する製品化に向けた支援を行い、新技術・新製品の開発を促進していきます。

(※) 創薬、医療機器開発、診断技術開発、予防医療、再生医療、介護・福祉、健康サービスなど

横浜市リーディング事業助成金(プロジェクト助成)とは

経済の活性化や高齢社会の課題解決、市民の健康増進につながるライフイノベーションを推進することを目的とし、京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区制度の活用を目指す研究開発事業及び健康・医療分野のイノベーションを持続的に創出するという「横浜ライフイノベーションプラットフォーム(LIP:横浜)」の事業趣旨に沿って国の助成制度等の活用を目指す研究開発事業を支援するものです。

○助成率・助成限度額

区分	助成率	1申請あたりの助成限度額※ ₂ (過去の助成との合計限度額)
市内中小企業※ ₁	対象経費の2/3以内	20,000 千円 (40,000 千円)
その他の企業	対象経費の1/2以内	

※₁: 中小企業とは、中小企業基本法(昭和38年法律第154号)第2条第1項に定める中小企業者をいう。

※₂: 1,000円未満切り捨て。

お問合せ先

経済局ライフイノベーション推進課長 伊藤 敏孝 TEL: 045-671-2574

※本件は、経済記者クラブにも同時発表しています。